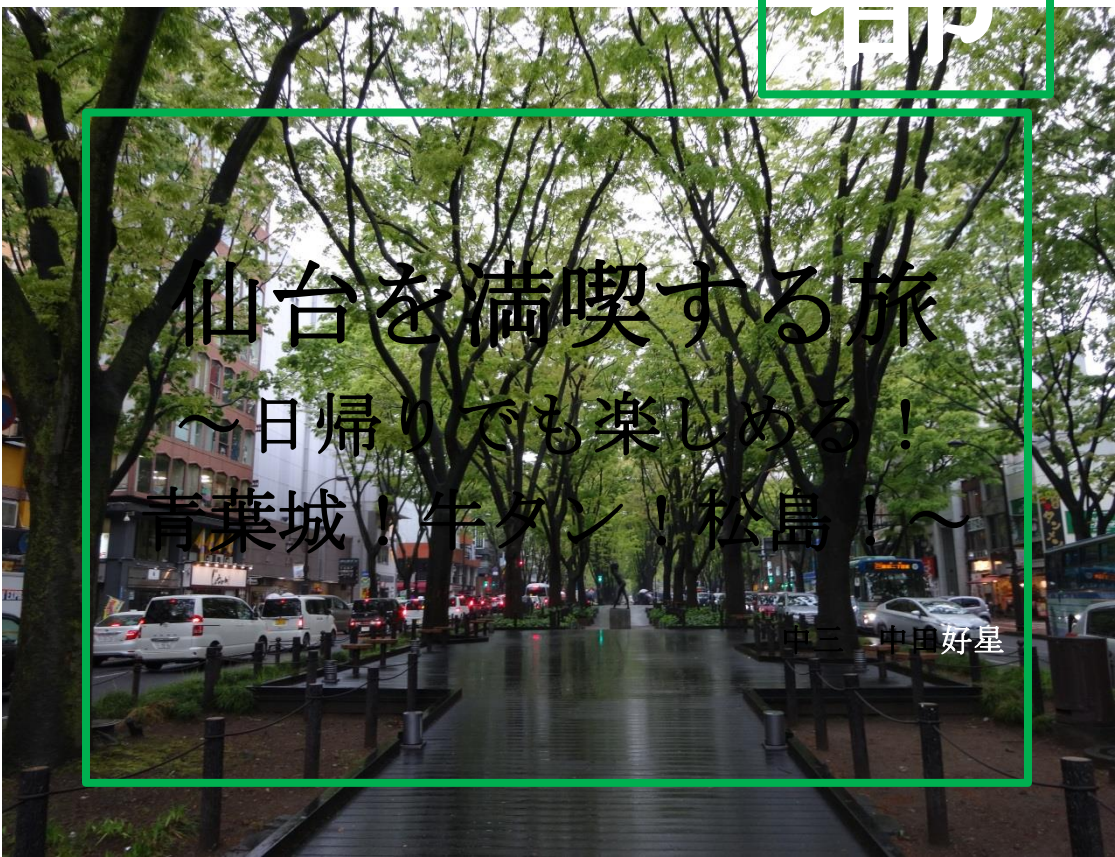


杜

の

都

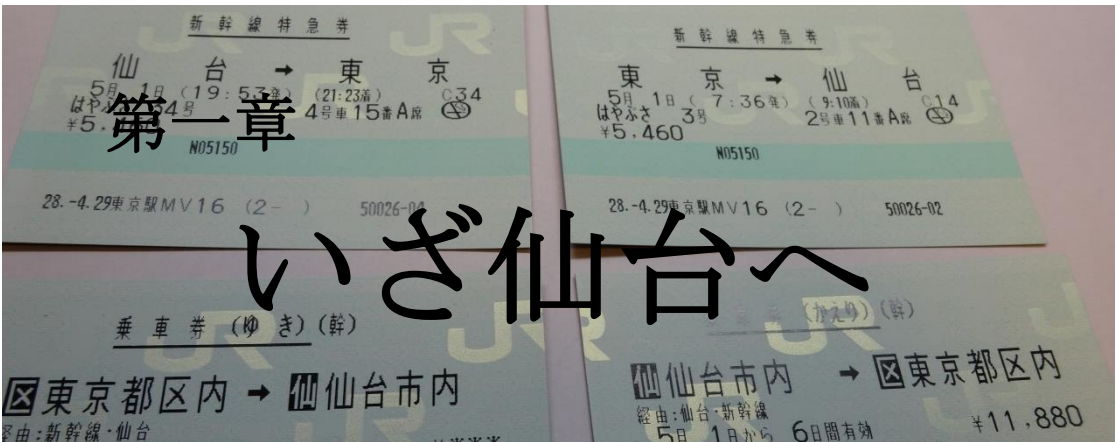


仙台を満喫する旅  
～日帰りでも楽しめる！～  
青葉城！牛タン！松島～

中三 中国好星



**旅**行・鉄道研究部の停車場執筆 2 回目の中田です。去年は東武スカイツリーラインについて書きました。さて、今回の旅の舞台は東北最大の都市「杜の都仙台」です。実はこの旅、サブタイトルにあるように日帰りです！そう、仙台は日帰りでも満喫できてしまいます。最近では地下鉄東西線開通や仙石東北ライン開通など、話題が多い仙台への旅の旅行記。どうぞ最後までお楽しみください！



**行**こうということになったのは、仙台では雪が降っているであろう冬の 2 月でした。私は以前に仙台は行ったことがあるのですが、その時風邪をひいていてあまり楽しめませんでした。また友人も仙台には行ったことがなかったので、行き先が仙台に決まりました。行く日は春休みではなく、GW の 5 月 1 日に決定しました。



## 1.丸の内北口にて

どの新幹線に乗るかが決まったので、2人で乗車券を買いに行こうと、私と友人は4月29日金曜日に東京駅丸の内北口に集合しました。東京駅はGW真っ只中でいつもより混雑していました。そして券売機で行きの列車の空席情報を確認すると、意外にも空いていて、予定通り買いました。しかし帰りの列車は空席が少なく、何本か後の列車にしました。その後私と友人は立ち話をしました。「土曜日に学校なんて嫌だな」とか言いながら旅の日を待ちわびていました。

## 2.ついに仙台へ

5月1日日曜日、天気予報では仙台は曇りのち雨でした。しかし家を出ると天気は快晴で、幸先のいいスタートです。最寄駅から電車を乗り継ぎ、7時少し前に集合場所の東京駅丸の内北口に着きました。その後友人も来て、ついに旅の始まりです。

新幹線の改札口はGWで大きな荷物を抱えた人たちで混んでいました。そして7時36分発のはやぶさがついに入線してきました。私と友人は「何だーH5系じゃなかったのか」と言いました。少し残念です。



▲真ん中の列車が今回乗るはやぶさ

▲入線するはやぶさ

車内清掃が終了し車内に入ります。指定された席に座り、旅の始まりにわくわくしました。列車は発車すると、トンネルに入ります。実は私は東北新幹線をいつも上野から乗っているため、東京から乗るのが初めてでした。なので初めての車窓を楽しみました。上野を発車するとトンネルを抜け、荒川を渡り、埼京線と並走すると、大宮駅に着きました。乗客は上野まではあまり乗っていませんでしたが、大宮駅でかなり乗ってきました。はやぶさは大宮を出ると仙台まで停車しません。友人はそのことに驚いていました。車窓が田園風景となったとき、私と友人はしばらくゲームをしていました。宇都宮駅付近になると徐々に速くなり、友人の速度計測アプリを見ると、320km/hを示していて、実際に高速で走行しているんだなと少し驚きました。郡山駅付近になると山深くなり、そして東京とは打って変わってどんよりとした雲も出てきました。さらには雨が降り出し、残念だなと思いました。そしてそのままの天気のまま、列車は仙台駅のホームに滑り込みました。



## 第二章

# キラキラ輝く東西線

はじめてちゃんと訪れた仙台。最初に乗るのを予定していたのは2015年12月に開業したばかりの地下鉄東西線です。ちなみに私はこの旅行の行程を作ったのですが、旅行中行程表はバッグの奥底に眠っていました。

### 新しく何もかもキラキラと輝く東西線

せっかくなので記念に取っておくために改札で切符に無効のスタンプを押してもらい、東西線へ向かいました。真新しい入口に入ると、仙台ご当地のICカードのICSCAの広告があり、友人に後で買おうと言いました。長い階段を下りるとホームはとても新しく、キラキラと輝いていました。電光掲示板には時刻が書いていなく、とりあえずホームの椅子に腰かけました。なんだかこの椅子、方向が階段に向いていておかしかったので笑ってしまいました。



▲新しいホーム。キラキラと輝いています。

しばらく友人と「新しくいいね。来た意味あるね。」など話していると列車がやってきました。車両は特徴的で前面には伊達政宗の兜の三日月形の前立てをイメージしたライ

ンがあり、側面には様々な色の正方形の模様が描かれています。

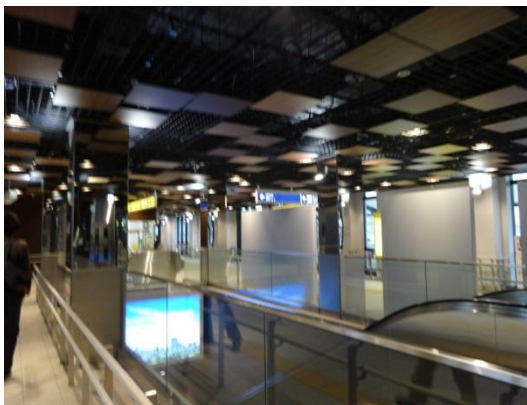


▲東西線の車両 2000 系の特徴的な前面



▲2000 系の側面

列車に乗ると車内は意外と小さく、乗客は若干名乗っていました。車内には液晶モニターもあり、網棚の面積が極端に少なかったです。発車すると前面の窓には新しいトンネルが見えました。いくつかの駅を停車しそれぞれの駅で乗客が数人乗り降りしていました。六丁の目駅という面白い名前の駅があり、友人と私はなぜ六丁の目なのかなと不思議に思いました。後日調べると六丁の目という地名が本当にあり、驚きました。駅数が少ないためか意外と早く終点の荒井駅に到着しました。



▲ユニークな荒井駅の駅舎内部



▲2000 系の車内

終点の荒井駅は駅舎の内部が四角い板をバラバラに組み合わせたユニークなものとなっていました。外にはロータリーがありました。雨が結構降っていたため、外には出ませんでした。そして八木山動物公園行の列車に乗り、仙台駅へ向かいました。そういえば友人が「仙台市営地下鉄の南北線の路線カラーは緑色で東西線は青色で、東京メトロの南北線と東西線も同じ色だね。」と言っていて、確かにそうだなと思いました。



## 第三章

# るーぷるで 伊達政宗に会いに行く

**最** 高の旅行を楽しんでいる私たちが次に向かったのは青葉城（仙台城）です。青葉城は仙台藩 62 万石の城として知られています。私は前から訪れたいと思っていて、今回巡回バス「るーぷる仙台」を使っていくことにしました。「るーぷる仙台」は仙台駅から仙台市内の観光スポットを一周巡ってまた仙台駅に戻るといふ巡回バスです。

### 1. 「るーぷる仙台」で一路青葉城へ！と思いきや・・・

東西線を乗り終えた私たちは青葉城を目指すべく、小雨の降る仙台駅前のバスターミナルにやってきました。しかし「るーぷる仙台」の乗り場がわからない！とりあえず一番脇の乗り場に降りると、「るーぷる仙台」のバスが止まっていた。このバスに乗るのかなと思って近づいてみると、ただ止まっているだけらしく、ここが乗り場ではないことがわかりました。また上に上ると「るーぷる仙台」の看板があり、やっとわかりました。しかし乗り場へ行くとなんと！GW だからかなり長い行列ができていました。私と友人は「こんな列が長いのにバス乗れるかなー」と言いながら最後尾に並びました。その後も私たちの後ろにどんどん人が並んでいき、ますます列が長くなっていきました。やがて「るーぷる仙台」がやってきました。



▲仙台駅前のバスターミナル



▲乗車した「るーぷる仙台」のバス

臨時ダイヤで運行しているらしく、時間通りではありませんでした。バスのデザインが路面電車みたいでユニークだなと思いました。ドアが開くと並んでいた人たちがぞろぞろと乗車していきました。私たちは乗車できるのか不安でした。そしてやっと中に入ることができてよかったーと思うのも束の間、後ろからもどンドン人が入ってきて満員電車以上にギュウギュウに押されました。こんなだったらもっとバスを大きくしてくれてもいいのにと思いました。

## 2.面白いバスの運転手さん

バスはバスターミナルを出るとケヤキ並木で有名な青葉通りのケヤキの下を通っていきます。バスの運転手さんも観光バスらしくバスガイドをします。例えばとても急な角度で曲がる交差点に差し掛かった時、「ここが一番お客さんが盛り上がる場所なんですよー」と言いながら、Uターンに近い交差点を絶妙なハンドルさばきで曲がりました。すると「おー！！」とお客さんたちから歓声上がり、とても盛り上がりました。私たちも乗っていてとても楽しいなと思いました。

## 3.天守閣がない！青葉城

バスは山道をフルパワーで登り、大きな石垣が見えたところでバス停に停車しました。バスから降りると前には大きな鳥居があり、城に鳥居なんて変わっているなあと思いつくぐりました。少し坂を上ると広々とした空き地があり、何だろうと思って近づくと・・・何かの建物の跡でした（何の建物だったかは忘れまじ！）！周りを見回しても天守閣がない！その理由は伊達政宗が天下を取ることを望まないという意思表示を徳川家康にするために造らなかったと言います。また城の建物は明治・大正時代に多くが取り壊され、今ではすべて残っていません。



▲城の何かの建物の跡の空き地



▲伊達政宗の像

私たちは空き地の上を通り過ぎ、伊達政宗の像にやってきました。観光客もたくさんいました。像の前は眺めがよく、仙台の街が一望できます。と言っても今日はあいにくの小雨・・・街の上には大きな雲が横たわっていました。



▲青葉城から仙台の街を一望。山には霧がかかっています。

しばらく仙台の街を眺めているとポツポツと雨が降り出しました。雨宿りできそうなところもないため、バス停に戻ることにしました。しばらく待っているとループしない仙台駅直線の「るーぷる仙台」のバスがやってきたので乗りました。



▲城の入り口の大きな鳥居と石垣



▲臨時仙台駅直線の「るーぷる仙台」

#### 4.まさかのタダ乗り！？

バスに乗ると乗客が行きよりも全然少なく、少し拍子抜けしました。発車するとバスは山道を分け入っていきました。青葉山を下りるとこのバスは仙台駅直通のため、本来降りる予定だった東西線の青葉山駅を過ぎました。そして広瀬川を渡り、緑豊かな青葉通りへ。途中停車しなかったため、あっという間に仙台駅に到着しました。そして降りようとしてPASMO読み取り機にPASMOをタッチしようとする、機械が壊れているのか読み取りができませんでした。しかし運転手さんは「あ、もうそのまま出ているよ。」と衝撃の一言！タダで乗れちゃいました。友人は現金で払ったためタダではありませんでした。後で友人に「いいなあー」と言われました（笑）

#### コラム ちょっとよりみち

～仙台藩 62 万石のヒミツ～

江戸時代、仙台藩は藩主伊達政宗の 62 万石の大藩として栄えました。そこでバスの運転手さんが言っていたある逸話があります。それを紹介したいと思います。



江戸時代、徳川家康が伊達政宗に何万石か言い渡すシーン

家康「政宗、31万石渡します。」

政宗「え？もう一回言って。」

家康「えー、31万石を渡します。」

政宗「ありがと。31万石+31万石=62万石だね。」

家康「え... ああ... そうだね。」

もともとは31万石だったのですが、2回言わせて62万石にしたわけです。伊達政宗は頭がいい！



**高**い旅費を払ってでも旅行は楽しい！杜の都を象徴するのが青葉通りと今回行く定禅寺通りです。定禅寺通りはケヤキがたくさん植えられ、真ん中の遊歩道は歩いていてとても気持ちがいいです。

### 1.ICSCA と南北線

さて、次に乗るのはもう一つの地下鉄の路線、南北線です！乗るとは言っても3分足らずのものなのですが...南北線は東西線開通のはるか前、1987年に開通しました。私たちは仙台だけで使えるICカードのICSCAを買うため、券売機にやってきました。なんと！1000円で買うことができました。スズメの柄は仙台の観光名所の瑞鳳殿のスズメの彫刻をイメージしたらしいです。早速ICSCAをタッチしてホームへ向かいます。緑色のラインが描かれている1000系で定禅寺通りの最寄駅、勾当台公園駅を目指します。およそ3分後、駅に到着しました。三越の出口から出た私たちは、仙台七夕祭りの会場の一番町の

商店街を通過して、定禅寺通りにすぐ着きました。



▲IC カード ICSCA



▲南北線の車両 1000 系

## 2.新緑の綺麗な定禅寺通りを散策！



▲新緑の綺麗な定禅寺通り

定禅寺通りは新緑がすごく綺麗で、木々の下を歩くだけで清々くなりました。夏は葉が茂って、木陰になって涼しそうですし、秋は紅葉で季節によって違った魅力が感じられそうです。ポーズをとっている彫刻もあり、先まで歩いてみたい気分でしたが友人が「早く牛タン食べたい！」と言うのでちょっと歩いて終わりました。来て良かったなと思います。ただ晴れた日に来たかったな...仕方ないけれど...ぜひ皆さんも散策してみては？





仙台での昼食はもちろん仙台名物牛タンです！旅のメインに近いぐらい楽しみにしていました！

### 1.まさかの...アレ...

仙台駅に着いた私たち一行は早速牛タン通りへ！今回食べるお店は牛タン炭焼き「利久」というお店。よしお店に着いたー。あれ？まさか...何と長い長い行列ができていました！一体どこまで続くんだ？やっと最後尾まで来られました。これ真面目に並んでいたら食べられるのいつになるんだ？と思っていると、お店の方らしき人がこっちに来る！すると私たちに「他の店舗があるので、そちらで食べませんか？」と言いました。よかったー！そして他に列に並んでいた人たちと行くことにしました。歩いて7分ぐらいで他の店舗に着きました。頼むメニューはもちろん「牛タン定食」！

### 2.牛タン定食の食レポ

友人は「牛タンカレー」を頼みました。しばらくすると出てきました。早速牛タンを食べてみると、うまい！うますぎっ！コリコリしているのにやわらかい！でも言葉ではよく言い表せられないですね。味わって食べていたのと、量が多かったので食べるのに少し時間がかかってしまいました。ちなみに今回食べた「利久」というお店はチェーン店で仙台のみならず、東京や北海道、鹿児島まで展開しています。牛タン食べたい！けど時間が無いという方でも東京などでも食べられるのでぜひ食べてみてください。



「利久」の牛タン定食→

### 3.東西線全線乗車！

先ほどは東西線の仙台駅から右半分を乗車しましたが、次は左半分を乗車して東西線全線乗車したいと思います。仙台駅を発車した列車はずっと地下を走っていました。しかし大町西公園駅を発車するといきなり外へ飛び出します。そして広瀬川を橋で渡り、国際センター駅に到着します。またもう一つ地上へ出る区間があり、一瞬だけ出たときの車窓は緑が綺麗な溪谷でした。そして八木山動物公園駅に到着しました。子どもも多く駅舎の中も一面水色でユニークでした。



▲一瞬だけ見えた溪谷（ブレてますが...）



▲八木山動物公園駅の駅舎の中

ここまで結構ゆったり目で来た私たちでしたが、仙石線の列車の時間が迫ってきました。仙台駅では地下鉄から仙石線へ少し小走りで移動しました。



台 風が来るよりも小雨のほうがまだマシな気がします。牛タンを食べ、仙台を満喫した私たちは急ぎながら地下ホームへと向かいました。何か前置きあまり書くことがない...



## 1.地下鉄のような仙石線

「ホームにやっと着いたー」と思うと長い行列が...これは座れないなーと思いながら車内に入りました。そういえば仙石線には関東でよく走っている 205 系が走っています。珍しいなと思いました。仙台駅を発車すると長い間地下区間を走ります。各駅何人かが下車していきます。そして陸前原ノ町と苦竹の間で地下区間からやっと出ます。近くにアウトレットがある中野栄駅では、かなりの乗客が降りて車内は空きました。私たちは座席に座りました。本塩釜駅でも多くの人が降りて残るのは松島への観光客ばかり。空いた車内に無機質なアナウンスが響きます。東塩釜駅からは松島が見え始めました。しかし今日はあいにくの曇り...陸前浜田駅の周辺では東北本線とくっついたり離れたりを繰り返しますが乗換駅はありません。



▲曇りの空と松島



▲観光客がたくさん降りた松島海岸駅

## 2.松島と震災の爪跡

松島海岸駅に着くと観光客がたくさん降りて車内は一層空きました。車窓からはたくさん松の生えた小島が見えるのですが、正直あまりいい景色とは言えません。展望台から晴れた日に眺めたらどんなに美しいだろうかと想像してしまいます。仙石東北ラインの分岐点高城町駅を過ぎるとまた松島が見えました。そういえば友人はというと...寝てますね。そっとしておきましょう。しばらくすると東日本大震災の津波で大きな被害を受けた場所を通ります。線路は新しくつくられて高架の新線区間となります。



▲津波で大きな被害を受けた場所



▲新線区間の高架が見える

すると駅前広場や駅舎が新しい駅がありました。それは石巻あゆみ野駅という今年の3月に開業したばかりの駅でした。その後数駅で石巻駅に到着しました。列車を降りて改札へ向かうと石巻出身の漫画家石ノ森章太郎さんのキャラクターの人形が置いてありました。また、女川方面に向かう列車も止まっていてあっちにも行きたかったなど後ろ髪をひかれる思いで改札を出ました。



▲途中ですれ違ったマンガタンライナー



▲仮面ライダーとあと何のキャラ...?



▲女川方面の列車



▲仙石線の 205 系



**最**高ですね、仙台は。東西線と同じように最近新しく開業した路線「仙石東北ライン」。私たちは石巻駅から帰りは仙石東北ラインに乗って仙台に帰ることにしました。



## 仙石東北ラインはどんな路線？

2015年5月に開業した仙石東北ライン。女川・石巻～仙台を以前の仙石線の快速よりも速く結びます。とは言っても石巻～仙台を新しく線路を敷いてつくったわけではありません。駅の間隔が狭く停車駅が多いため、速度が遅い仙石線の高城町駅から0.3kmの連絡線をつくり、駅間が長く速達性が高い東北本線に接続して石巻と仙台を結びます。連絡線は非電化のため車両はHB-E210系という「ハイブリット気動車」が使われています。

## とにかく速い！仙石東北ラインに乗る！

私たちはすぐ改札をまた入り、ホームへ向かいました。私たちが乗ってきた仙石線205系の横には仙石東北ラインのHB-E210系（名前長い！）というハイブリット気動車がもう停まっていた。顔は何となくE721系やE129系に似ている感じがします。



▲仙石線205系とHB-E210系の並び



▲仙石東北ラインHB-E210系

車内に入ると東海道線のE231系のようなヘッドレストが固いボックスシートが並んでいました。各ボックスに1～2人のそこそこな乗車率でなかなか空いていないので、私たちはロングシートに座ることにしました。しばらくすると少しブルンという音がして発車しました。しかし走行音は気動車を感じさせない静かなもので乗り心地は良かったです。高城町駅までは仙石線を走ります。快速のため小さな駅を通過しあっという間に高城町駅に到着しました。少し長く停車しゆっくりと連絡線へと入っていきます。仙台駅には仙石線よりもとても速く着いた印象があります。



▲仙台駅に停車中の仙台空港行の列車



▲ICSCAとSuicaが仙台で使える区間は相互利用可能（東京などでは使えません）



**高**いですね、回らない寿司は。さて、ここまでずっと列車に乗ったり観光をしたりしていました。もう夕方になり、乗る列車も無くなったのでスタバでゆっくりすることにしました。というかもう第八章まで来てしまったのですね。

### 1.あれっ...！財布無くした！

仙台駅の改札から出た私たちはスタバに行きました。列に並んでいると...あれっ！財布が無い！鞆の中を探してもありませんでした！帰れなくなったらどうしよう...しかし何回か探しているうちに鞆の底から見つかりました！あー良かったー...本当にホッとしました。そしてスタバで1時間位友人と雑談をしました。



▲「スタバなう」風に

### 2.初めての回らない寿司を食べる

さて友人とスタバで休憩したし次はどこ行こっかと話し、もう夕食の時間だから夕食を食べるところを探そうということになりました。友人が寿司がいいなと言いました。私も確かに海産物は美味しいかと思って牛タン通りの奥にあるすし通りに行きました。です



があまりいい店は無く混んでいる店もあって止めました。スマホで調べてみると駅の近くのデパートの中に寿司屋があることがわかりました。とりあえず行ってみると良さそうだったので入りました。店の名前は「寿司田」。初めての回転寿司ではない、板前さんが目の前で握る寿司屋で食べることにしました。私は少し緊張しました。席に座って「まぐろ三貫」やいくらなど6貫を頼みました。友人は「あぶり三貫」などを頼みました。すると板前さんは目の前で握り始めました。見ていると寿司を本当にバーナーで炙っていてすごいなと思いました。



▲寿司屋「寿司田」



▲「まぐろ三貫」など。美味しかったー

やがて寿司ができました。食べてみると...美味しい！その辺の回転寿司よりも全然美味しい！まぐろはすごくとろけて、いくらもすごくプチプチしていて美味しい！これはもう回転寿司は食べられないなと思いました。6貫で満足しました。しかし値段は2000円...でも味はお値段以上でした！



でもついに帰る時が来てしまいました...あっという間でしたね。でもここまで日帰りで満喫できた旅は今までしたことがありませんでした。とても楽しかったです！

## 1.お土産はやっぱり...

とても美味しかった夕食を食べ終えた私たちは、最後にお土産を買いに駅に戻りました。仙台のお土産と言えば、定番の萩の月ですね。私たち2人は萩の月を買いました。私は萩の月だけではなく違うお土産も買おうと思ったのですが、萩の月か牛タンばかりで中々見つかりませんでした。しかし黒蜜きなこもちがおいしそうだったので買うことにしました。



▲お土産に買った萩の月と黒蜜きなこもち

## 2.ついに東京へ...

私たちはお土産を買い終わると、帰りの新幹線の時間が迫っていたので改札口へ入りましました。そしてホームへ。しばらくして帰りのはやぶさがやってきました。



▲さようなら仙台...



▲帰りのはやぶさ

席に座るとすぐに列車が発車しました。仙台の街の光が背後へ消えていきます。さようなら仙台...東京にはあっという間に着きました。東京から列車を乗り換え、家に着いたのはもう11時。お土産に買った萩の月を食べながら仙台楽しかったなと思いました。色々な列車に乗ったり、観光したりして仙台を満喫することができました。牛タンや寿司も美味しかったです。また少し時間が経ったら仙台へ行きたいです。やっぱり旅をすることは楽しい！あと萩の月美味しい！そうだと次の日学校だあー...早く寝ないとー。





すっかり長くなってしまいました。最後まで読んでいただきありがとうございました。  
仙台には他にはない魅力がたくさんあります。みなさんもぜひ仙台へ旅をしてみ  
てはいかがでしょうか。旅をすることでその地域の美味しい食べ物や美しい景色、地元  
の方々と出会うことができます。みなさんも「旅人」になって旅をしてみてください。

最後に章の最初の文字を順に並べると…

<参考文献>

・フリー百科事典 wikipedia <https://ja.wikipedia.org/>



最後まで読んでいただきありがとうございました！